

「素材・光・建築」



第29回 MASセミナー

～年間テーマ：建築の祖型を考える～

近代建築が単純幾何学や効率の良さを特徴とし、地域性を超えた生産性を実現したことで、現代社会の発展に寄与してきました。しかし、近代がもたらした、環境負荷の増大、格差や貧困、消費社会、人口爆発など、マイナスの要素もまた無視しえないレベルで迫ってきています。現代社会にあって、消費される建築の姿とは別の視点で、建築の役割やデザインの可能性を考えてみたいと思います。

年間テーマの「建築の祖型」に呼応して、建築の「形」ではなく、控えめでささやかに背景に存在する、素材と光（あるいは音）に着目します。素材は、近代以前には建築が建つ場所の資源に深いつながりを持っていました。また、光を適切に利用することは、「建築」の仕事であり、建築の美しさと根源的なつながりを持っています。建築における素材と光の関係を考えることは、古くて新しいテーマです。

（田口知子）

■ 日時： 2018年12月8日(土)

■ セミナー：14:00～16:00（受付：13:30～）

■ 懇親会：16:00～17:30（ワイン・つまみ付）

： ■ 参加費 セミナー無料／懇親会 500円

■ 場所：渋谷区神宮前2-3-18 JIA館1F 建築家クラブ
（地図参照。環状4号線側からは2階になります。）



【お問合せ・申込み】

TEL：03-5545-5936

MAIL：info@t-taguchi.com

（MAS担当 田口設計事務所）

【JIA 港地域会ホームページ】

www.jia-minato.jp



MASセミナーは、日本建築家協会（JIA）港地域会の建築家たちと市民の方で語りあえるひとときを提供しています。年間テーマから導かれる各回のお題に対して、私たち其々の想いを語り、会場にこられた方のご意見もいただく双方向の会となっています。

昨年までは「みんなで考える町と建築の未来」と題して回を重ねてきましたが、今年度からのテーマは「建築の祖型を考える」としました。これは宗教学者のミルチャ・エリアーデの言葉で、超越的な起源をもちこの世の初めに啓示された慣例の規範と行動の規範ということです。

人と人を関係させる建築のあり方、建築の原点に想いを馳せていきたいと考えております。

主催：日本建築家協会（JIA） 関東甲信越支部港地域会（代表 村上晶子）

